

2020年度 日本陶磁協会賞・金賞受賞記念
新里明士・十三代三輪休雪 展

2021年11月15日(月)～11月20日(土) 午前11時～午後5時

新里明士 [にいさと・あきお]

- 1977年 ○ 千葉県君津市に生まれる
- 2001年 ○ 多治見市陶磁器意匠研究所修了
- 2005年 ○ 第54回ファエンツァ国際陶芸展新人賞（イタリア）
- 2008年 ○ 第3回パラミタ陶芸大賞展大賞
- 2011年 ○ 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員
（ボストン、アメリカ）
- 2014年 ○ 第19回MOA岡田茂吉賞新人賞
- 現在、岐阜県土岐市にて制作

● 受賞理由

古くからある蛸手を現代的な手法として注目される技法にしたこと、長きにわたり一つの技法に取り組むなかで表現の幅が拡がり、それらを活かした作品が展開されていることが評価されました。

1 | 《光器》-1 高18.0cm 径40.5cm

2 | 《光器》-2 高17.6cm 径25.5cm

3 | 《穿器》 高22.1cm 径13.5cm

1



2



3



十三代 三輪休雪 [みわ・きゅうせつ]

- 1951年 ○ 山口県萩市に生まれる
- 1975年 ○ 米国遊学 SFAI
- 1992年 ○ 「日本の陶芸『今』百選」展
（三越エトワール/パリ、日本橋三越本店/東京）
- 2007年 ○ 2006年度日本陶磁協会賞
- 2012年 ○ 国際陶芸アカデミー会員、山口県選奨
- 2019年 ○ 十三代三輪休雪 襲名

● 受賞理由

伝統的な産地の陶家に生まれ、2019年には十三代を襲名しましたが、萩焼の枠に留まらず土の魅力を表現しようと挑戦し続けている点が高く評価されました。

1 | 花器《雪嶺》 高61.0cm 胴径24.3cm

2 | 茶碗《エル キャピタン》 高12.7cm 口径14.0cm

3 | 茶碗《淵淵》 高11.6cm 口径13.8cm 薬師寺東塔基壇土

1



2



3



2020年度日本陶磁協会賞は新里明士氏、同金賞は十三代三輪休雪氏が受賞しました。両名の受賞を記念した展覧会を開催いたします。受賞を祝し、現代の陶芸を代表するお二人の作品を、この機会にご覧くださいますようご案内申し上げます。

日本陶磁協会賞はその年、もっとも優秀な作家を、そして金賞は陶芸界に足跡を残したベテラン作家および協会賞受賞作家を対象に授賞しています。毎年、研究者・ギャラリストほか現代陶芸を識る推薦委員から挙げられた候補者の上位より、2月に選考委員が選出しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ご入場をお待ちいただく場合がございます。また、ご来場の際は マスク着用をお願いしています。

会場

壺中居

東京都中央区日本橋3-8-5

Tel 03-3271-1835

日本橋高島屋本館南側向かい

(地下鉄銀座線日本橋駅、B2出口より徒歩3分)

主催

公益社団法人日本陶磁協会

協力

ギャラリー こちゅうきょ

内容に関するお問い合わせ

Tel 03-3292-7124

[公益社団法人 日本陶磁協会]

十三代 三輪休雪 水指《雪嶺》

高 23.5cm 胴径 21.3cm